

Ⅱ 乳幼児をもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅱ-13

プログラム名：楽しく遊んで 体を動かそう！

対象：乳幼児をもつ保護者

時間：50～60分程度

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの体力低下は3つの「間」の減少が1つの要因であることに気づく。 ○ 幼少期に親や友だちと体を動かし、その楽しさを体験し、運動習慣を継続させることが体力向上につながると認識する。 		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを取り巻く環境から、意図的に体を使った遊びをすることが必要なことに気づく。 ○ 幼少期に体を使って楽しく遊び、継続することが、小学校入学以降の体力、運動能力に影響を与えることを知る。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4人で1グループになる。 ○ 付せん紙 OA4用紙 OA3用紙 ○新聞紙 ○ごみ袋 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク（自己紹介）	・自己紹介の中で、自分の幼少期に好きだった体を使った遊びをA4用紙に書いて3つ紹介する。	A4用紙
展開 15～20分	<p>●ワーク1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードをもとにグループで話し合う。 <p>・付せん紙に書いた意見を3つの間の減少のカテゴリに分けて貼り直す。</p>	<p>◎子どもを取り巻く遊びや社会環境の変化などから考えられる体力低下の要因を考え、3つの間の減少がその1つであることに気づくことをねらいとする。</p> <p>・エピソードを読んで、子どもを取り巻く環境の変化をグループで共感しながら話し合い、付せん紙に記入し、A3用紙にグループ内で発表しながら貼っていく。</p> <p>「3つの間の減少」を示す資料から、付せん紙に書いた意見を3つの間の減少のカテゴリに分けて貼り直すことで、体力低下の1つの要因だと気づく。</p>	付せん紙 A3用紙 資料1の①～④
15～20分	<p>●ワーク2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがどのような体を使った遊びをしているか考える。 ・体を使った遊びについて意見を出し合い、グループ間で共有する。 ・簡単な体を使った遊びを体験する。 ・子どもにかける声かけの事例を考えて実施する。 	<p>◎グループの方の意見や資料を参考に、簡単な道具や手段で様々な遊びがあることに気づき、子どもが運動を好きになるには、どのような声かけが必要か考えることをねらいとする。</p> <p>・10分程度話し合った後、資料2より、グループのメンバーと2人1組になって、子どもとできそうな遊びを体験する。</p> <p>・その際に子どもにかける声かけを実施する。</p>	資料2の①～② 新聞紙
まとめ 10分	<p>●ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことやグループの意見等をワークシートに記入する。グループ間で共有する。 <p>●まとめ</p>	<p>◎今の時代は幼少期のうちから、意図的に子どもと体を動かして遊んだり、運動したりすることが必要であることに気づくことをねらいとする。</p> <p>・資料3を提示し、幼少期の運動経験が体力・運動能力に及ぼす効果を考えながら、本日の感想をまとめる。</p>	資料3